

## 沼田理津子教頭先生



①英語  
②買い物、車、愛犬との散歩  
③いなりずし、モンブラン、どら焼き、おせんべい  
④部活には入っていませんでした。混み合うバスと自転車の通学で疲れたことです。  
⑤爽やか佐和高のイメージ通り、皆さんよく挨拶してくれます。部活も盛んでとても元気があると感じました。礼儀正しくて真面目な人が多いと思いますが、自分に自信を持って色々なことにどんどんチャレンジしてほしいと思いました。

## 横山律子先生



①国語  
②ガーデニング（寄せ植え作り）  
③塩パン、チョコレート  
④部活には入っていませんでしたが、（中学は吹奏楽部）楽しくバス通学していました。中高の気の置けない友人とは今でも時折会っています。  
⑤野球部を中心に挨拶がさわやかで清々しい気分になります。明るく素直な生徒が多いのは嬉しいです。

## 渡邊 均先生



①数学  
②走る、読書、旅行  
③みそラーメン  
④陸上競技部  
⑤みんな頑張る屋



## 川松暁子先生



①英語  
②旅行、ウクレレ（始めたばかり）  
③サーモンの刺身  
④一年のときは生物部に入っていて、夏休みに安達太良山に登ったことが思い出です。予想以上にハードでしたが、今となってはよい思い出です。二三年は興味のあった英語研究部に転部しました。  
⑤新任式で壇上に立つたとき、あいさつの声が大きくてすごいなと思いました。素直で元気な生徒たちが多いという印象です。

## マリツサ先生



①英語  
②弓道、茶道、絵を描くこと  
③たこやき、お好み焼き、すし  
④オーケストラ部  
⑤生徒が元気なあいさつをしてくれてうれしい。

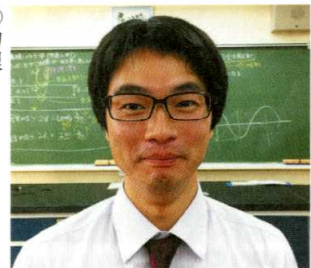


## 伊藤有子先生



①英語  
②ジョギング  
③メロン、アイス、トロ草、けんちん汁  
④フォークソング部に所属して、ユーミン、アリス、中島みゆき、八神純子（知ってる？）などの弾き語り（ギター&ピアノ）をしたり、バンドを組んで、コンサートをしていました！女子高だったので、部活の先輩に憧れてトキメキました。  
⑤人の話を聞く態度が大変すばらしかったので、赴任した頃は毎日感動していました！

## 山口 薫先生



①物理  
②登山、ゲーム、バイク  
③ラーメン  
④写真部、軽音楽部、生徒会、アコギ同好会、映画研究同好会、思ひ出多すぎて語り尽くせません。  
⑤佐和高は落ち着いた雰囲気、安心して高校生活を送れるとても素晴らしい高校と感じます。最初は元気がないのかと心配でしたが、話してみると、元気一杯で安心しました。私も皆に負けずに、元気に頑張っていきたいと思います。

## 神原 要先生



①地歴・公民  
②山登り、旅行  
③和食系（そば、スシなど）  
④一年間だけ横山先生と一緒にラグビー部でした。  
⑤建物が開放的でよくできていること、生徒がよくあいさつしてくれること。



## 茅根賢二先生



- ①美術
- ②フットサル、音楽鑑賞、映画鑑賞
- ③ラーメン
- ④サッカー部です。当時は今よりも肌が焼けていて、日が落ちるとよく「見えないう。」と言われていました。
- ⑤以前から「落ち着きのある良い学校」と聞いていましたが、本当にその通りだと思っています。思いやりを持っている生徒が多いです。

## 赤須美琴先生



- ①事務
- ②羊毛フェルト
- ③お肉とチーズ
- ④自分達で育てたものを文化祭で売ったり、収穫祭で食べたりしたこと。會長もやっていたので全体的に充実してたと思います。
- ⑤数ヶ月前まで生徒として通っていた高校が仕事場になったというのが不思議な感じがします。

## 辺見知子先生



- ①理科（化学・生物）
- ②特技になりますが、あんな物で家族が喜ぶ料理をくると。そのために普段はいい物を食べないことが味の二つ。
- ③味噌煮込みうどん。冬にはよく作ります。この太い麺と、赤味噌が好きです。
- ④高校三年時の文化祭です。私の出身校の文化祭のクラス発表は、「二年生が展示、三年生が演劇をする」ことが恒例でした。九月の文化祭に向けて夏休み返上で練習。練習場所にした中庭で、椅子を持ち、場所とりをして、練習しました。
- ⑤佐和先生の印象は「さわやか」です。あいさつする生徒が多い。あいさつを通して心の交流をうれしく思います。

## 新任先生紹介

- ①担当している教科名
- ②趣味
- ③好きな食べ物
- ④高校時代の部活動・思い出
- ⑤赴任して感じたこと

## 一年生になって

義務教育が終わって早数ヶ月。学校や部活にも慣れ、友達もでき、ある程度不安が拭き取れてきた。夏休みも終わり、残すは後期のみ。思えば、一年の後半戦だ。高校一年生という自覚も出てきた。だが、あまりのんびりも出来ない。文理選択しなくてはならないし、将来も考え始めなければならぬ時期だ。しっかりと高校一年生として、自分の将来を見定めなければいけない。中学校の頃にはなかった文理選択。新しい不安の種と解釈するか、好機の種と解釈するか、貴方ならどうだろうか？自分はおそらく両方、と解釈するだろう。

しかし、不安ばかりではない。クラスマッチやHRでのBBQ等々の行事もある。部活によつては合宿もあっただろう。文化祭もある。ので楽しみたい。

勉強も部活も、学校行事も、不安ばかりがあるわけではない。ちゃんと楽しめる行事もあるのだ。中学校でも楽しめた行事の名残もあるだろう。楽しんで高校生活を送ることが出来れば、きつと儲け物だ。

最後に、高校は不安だらけではなく、楽しいこともちゃんとあるということが分かった。高校一年生になって不安もあったが、楽しんで生活したいと思う。

（二年二組 飯村 真翔）



入学式にて

自分は、一年生になってよかったと思うことが複数ある。

自分が一年生になってよかったことは三つある。まず一つ目は、自分が知らないことが勉強できるということだ。自分は中学校のときは勉強が嫌いだったのだから、高校ではそんなこと今まで思っていたことがない。確かに勉強は難しくなっているが、自分が全く知らないことを学んでいくため、それが楽しい。二つ目は、クラスメートの幅が広がるということだ。小学校や中学校ではほとんどクラスのメンバーが同じ市内の子たちばかりだったが、高校生になるとひたひたな市や水戸市から来ている人がいる。もしかしたら、太子や常陸太田などから来ている人もいるかもしれない。このように多種多様な場所から来ている人の話を聞くと、その市の風習や特徴などを知ることが可能になり、友達と話すのがもっと楽しくなる。三つ目は、部活についてだ。高校の部活は中学校の頃と違い、本格的にやる。それなりの技能が必要になつてくるし、団体戦や個人戦で中学校の時と比べて、さらなる高みを目指す。以上三つにより、自分は高校一年生になってよかったと思う。

一年生である今のうちに、自分の思う存分充実した、一生忘れることのない楽しい高校生活を送り、二年、三年生になった時に将来について、しっかりと考えて立派な社会人になりたいと思う。

（二年六組 根本 雅也）

## 編集後記

第五十四号目の発行になります。佐和高新聞を読んでいたが、ありがとうございました。

今回は新聞がカラーになったため、写真をなるべく多めに使用することを意識しました。カラーにしたことにより写真がより分かりやすくなったと思います。

また、今回もたくさんの方々に協力をいただいたおかげで、新聞を完成させることができました。本当にありがとうございました。これまでさまざまな記事を書いてきましたが、これで私が書く最後の編集後記となります。広報委員会は皆さんの思い出が色あせないように、これからも多くの記事を掲載していきます。次号をご期待下さい。

## 平成二十八年度広報委員

- 一の上 飯村 未来
- 一の二 田代 真翔
- 一の三 沼田 優乃
- 一の四 橋本 華奈
- 一の五 鈴木 小百合
- 一の六 根本 雅也
- 二の一 栗本 剛朗
- 二の二 沖田 蓮
- 二の三 丸地 琴子
- 二の四 池田 実
- 二の五 飯田 美奈帆
- 二の六 増子 龍世
- 三の一 安藤 玲央
- 三の二 長島 颯羽
- 三の三 石井 杏奈
- 三の四 田中 佑佳
- 三の五 野口 星花
- 三の六 磯崎 彩香

